

ジャンボリーヒストリー



第1回

静岡県立朝霧野外活動センターキャンプ場 昭和47年
小学6年生対象に2泊3日で1回実施。教育委員会主催、参加児童218名。

第2回

奥多摩町海沢キャンプ場 昭和48年
小学4～6年生を対象に1泊2日で実施。



第3～9回



神奈川県愛甲郡清川村 宮ヶ瀬長者屋敷キャンプ場 昭和49～55年
第4回より参加者が1000名を超える。
第5回より教育委員会と青少協地区委員会との共催に。

第10回

五日市町養沢鏡沢ロッジ 昭和56年
「市立自然の村」建設開始。



第11～40回



長野県南佐久郡川上村 「市立自然の村」 昭和57年～平成23年

第11回 2泊3日の実施になる。台風10号が直撃したため、開催途中第4回まで中止に。

第12回 前年開催途中で中止となったため、中学1年生も参加。

第18回 市と青少協地区委員会との共催事業に。



第20回 「ジャンボリーの歌」「各地区の地区旗」作成。自然の村で「ジャンボリーを語る集い」開催。

第29回 中高生が大人（指導者）を補助するサブリーダーとして正式参加。

第30回 「ジャンボリーシンボルマーク」作成。自然の村で「30周年記念式典」実施。



第33回 口径500mmの天体望遠鏡の寄贈を受け、天体施設が開所。

第35回 サブリーダーに中高生リーダー講習会の受講を義務づけ。

第36回 開催期間が全11回になる。

第40回

- ・記念バッチの新デザインを公募により決定。
- ・多目的広場の愛称を募集「みんなの広場」に決定。
- ・武蔵野公会堂で「40周年記念式典」を実施。



川上村ってこんなところ

ジャンボリーの開催地である「市立自然の村」は長野県の川上村にあります。長野県の東南端に位置する川上村は、信濃川に至る千曲川源流の里。四方を山々が連なり秩父多摩甲斐国立公園の一角を占める風光明媚な環境にあります。夏場は、冷涼な気候条件から生産される高原野菜畑が一面に広がり、秋にはカラマツ林が、真っ赤に彩り、冬には、広大な大地を真っ白な雪が覆い尽くします。そして、春になると雪解けとともに、大地の息吹を感じさせるよう山菜が顔を見せ、やがて、新緑の景色が広がります。



たの楽しいジャンボリー

作詞：手島千奈美／作曲：仁平 勝己

- みどり やまな さわやかな 川上村で 集いましょう
ほし ふ よる 星降る夜を ながめたら 優しい心になりました
ゆうじょう 友情あふれる 武蔵野の子 楽しいジャンボリー
ゆうじょう 友情あふれる 武蔵野の子 楽しいジャンボリー
- かわ なが きよ 清らかな 川上村で いこいましょう
ちい 小さな力 合わせたら 大きな希望が わきました
げんき 元気あふれる 武蔵野の子 楽しいジャンボリー
げんき 元気あふれる 武蔵野の子 楽しいジャンボリー

むさしのジャンボリーに関するお問い合わせ先

武蔵野市役所子ども家庭部児童青少年課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1853 / FAX 0422-51-9327
MAIL sec-jidouseisyo@city.musashino.lg.jp

むさしの



ジャンボ



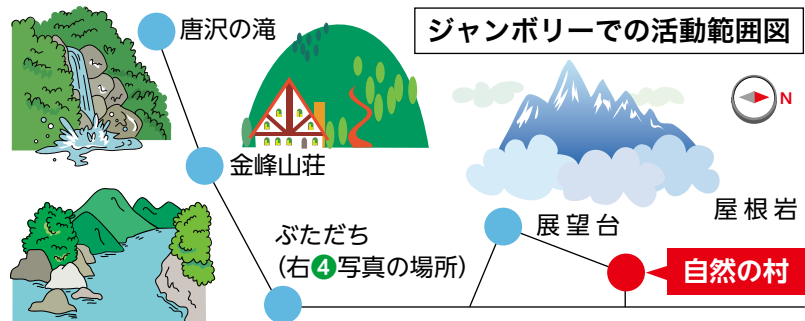
ボリー

主催：青少年問題協議会（青少協）地区委員会・武蔵野市
制作：むさしのジャンボリー40周年記念事業実行委員会

むさしのジャンボリーとは

青少年の健全育成を目的として長野県川上村にある武蔵野市立「自然の村」で行っている小学4～6年生を対象とした2泊3日のキャンプ事業です。市と青少年問題協議会の各地区委員会との共催で毎年夏休み期間中に全11回実施しています(子ども参加費2500円)。地域の大人はリーダー(指導者)として、中高生はサブリーダーとして参加できます。(平成23年11月現在)

標準的なスケジュール



①ハイキングに出発! これからどんなコースを歩くのかワクワク・ドキドキです。②・③キャビンかテントに宿泊です。地区によってはブルーシートで屋根を作ってビバーク体験も。④夏でも冷たい川の水に大人も子どもも大興奮。⑤まき割りをして、火をつけて…。早くごはんが食べたいな…。⑥夜はみんなでキャンプファイヤー。火の暖かさや明るさに、火の大切さを改めて実感します。⑦標高1500mで星空観察も。口径500mmの天体望遠鏡で星に近づく。⑧川上村の星空。晴れていれば肉眼でも無数の星達と出会うことができます。⑨楽しかった2泊3日。ここで涙の退村式。⑩太陽の広場から望む屋根岩と山々。